

検査室から

# 新しい機械の紹介

検査室 田中雅彦



問い合わせ先

岩美病院 事務局

☎73-1421

予防医学が盛んに叫ばれる時代になってきました。予防医学は病気になってから治すのではなく、病気になる前に未然に防ぐ、病気の重症化を防ぐ、病気の再発を防ぐことを目的としており、岩美町が実施している町民ドック、病院での各種健康診断などもこれに該当します。

これら町民ドックや健康診断では、血液を用いる検査が行われます。血液検査には貧血や肝機能・腎機能等の検査がありますが、今回は腫瘍（しゅよう）検査・肝炎（かんえん）検査等に用いられる『免疫（めんえき）測定装置』を紹介します。

今年8月に新しい機械に更新したこの『免疫測定装置』のできる検査の種類は、主に次の5つです。

## ① 腫瘍（しゅよう）検査

日本人死亡原因の第1位は悪性新生物（癌：がん）だと言われています。そのため早期に発見し、早い段階での治療が必要とされている病気の1つです。

癌は、細胞内から特有の物質を血液中に生産されることが知られており、この物質を測定することでガンの種類や状態、再発の可能性を推測することができます。

町民ドックでも検査しており、早期発見・治療に役立てられています。

## ② 肝炎（かんえん）ウイルス検査

B型肝炎・C型肝炎の原因であるウイルスやその抗体を測定することにより、現在感染しているのか、過去に感染していたのか、ウイルスが体に進入したとき撃退できるのか等を調べることができます。

町民ドックでも実施しています。

## ③ 薬物検査

心臓病に関わる薬と喘息など気管支に関わる薬の血液中濃度を測定しています。

値が低ければ効果が弱く、反対に高ければ効き過ぎで中毒症状などの原因となります。検査することにより薬剤の適正量使用の目安になっています。

## ④ 甲状腺（こうじょうせん）検査

甲状腺は首の前、のどぼとけの少し下の方にある器官で、主な働きとして全身の細胞をを活発にするホルモンを分泌しています。そのため機能に異常を認めると全身にさまざまな症状が現れ、体調を崩していきます。

ホルモンを測ることにより、甲状腺の状態を把握し、適切な治療に結び付けています。

## ⑤ 貧血（ひんけつ）検査

日本人の男性の約10%・女性の17%の方に貧血があるという調査報告があります。貧血はその原因により多くの種類に分類されますが、その中で最も多いのが鉄欠乏性（てつけつぼう）貧血です。

貧血症状のある方の検査をして鉄欠乏か？その他の原因なのか？を調べ、原因に合わせた適切な治療を行なっています。

『免疫測定装置』ではこのように多種多様な検査が可能になり、採血してから早いもので30分、特殊な検査でも1時間で報告できるようになりました。以前の機械より短時間で結果が出るため、説明のためにもう一度来ていただく必要がなく、患者様の負担軽減と病気の早期発見・早期治療につなげられるようになりました。

検査室では、今後少しでも多くの検査を病院内で実施出来る環境を整備し、来院された患者様のお役に立てるよう努めたいと考えています。

